

「輝け11 しまね町村フェスティバル」(第3回)について

《開催概要》

- 趣旨 県内11町村の伝統文化・芸能、また豊かな海の幸、山の幸を紹介することにより、これまで培ってきた島根の原風景「まち・むら」の魅力・輝きを情報発信
- 主催 島根県町村会及び島根県町村議会議長会並びにTSK(実行委員会)
 - *後援 島根県・島根県教育委員会
 - *協力 4団体 *特別参加 13団体
- 日時 平成25年10月5日(土曜)及び6日(日曜)の2日間
- 会場 松江市向島町 TSK「エリア8」
- 主な事業内容
 - ・地域の伝統文化、芸能等の紹介
 - ・地域の特産品の紹介、実演、販売促進
 - ・観光、定住促進に向けた情報発信
- 来場者数 1万9千人
- 実施結果

1) 全体概要

- ・年次、来場者数は増加傾向(H23:11,000人→H24:18,000人→H25:19,000人)にある。特に、2日目の6日(日曜日)は天候に恵まれたこともあり、一日としては過去最高の12,500人の来場を記録した。この要因としては、次の点が挙げられる。
 - ① イベントとしての認知度が向上し、秋の風物詩として定着してきたこと
 - ② TV広報(スポットCMに加え、「週刊・ヤッホー!」が会場から生中継されたこと)をはじめ、広報活動を強化(告知チラシを三次市周辺、道の駅などにも広域的に配布等)したこと
 - ③ 10月上旬の開催で、比較的天候が安定し、出かけやすい時期であること
- ・特に、10月6日の状況は、朝から来場者が途切れることなく一日中続いた。11時頃からは各ブースに長い行列ができてはじめ、会場全体として大変な賑わいとなり、2時近くまでピークが続いた。その後も、終了まで多くの来場者で賑わい、来場者数12,500人を記録した。
- ・今回初めて実施した「しまねっこ」などゆるキャラ集合は、多くの若い家族連れの来場が見られるなど、テレビによる広報効果と相まって、効果的な企画となった。

2) ステージ関係

- ・メインステージでは、県内各地域の神楽や、本場隠岐の民謡、力強い太鼓、伝統的な踊り、また会場全体を利用した踊りなど、様々な伝統文化などが披露された。
- ・メインステージ、ミニステージと各町村ブースとのタイアップ、ゆるキャラの活用など、情報発信に工夫が見られた。

3) 物産ブース関係

- ・県内各地域の海の幸、山の幸の出展があり、特に、試食、実演を行うブースが増加傾向にある。来場者の伸びにより、物産関係も、試食、実演コーナーを中心に、売り上げが伸びた。特に、6日(日曜日)は、これまでになく多くのブースでの完売が相次いだ。